

～産地便り～ 県内生産のお米について

2020年2月に発生した新型コロナウイルスの影響から、5月～6月に計画していました産地訪問・交流イベントがすべて中止となりました。

そこで、生産者の皆さんから是非産地の様子を組合員の皆様にお知らせしてほしいとの願いから、産地だよりを作成しました。

○恵那ひかり（こしひかり）

JA ひがしみの

今年は5月9日に田植えをしました。

今年も多くのご組合員さんに参加いただくと楽しみにしていましたが、新型コロナ禍の影響で、田植え交流会が開催できず、残念です。

秋には新型コロナ禍が収まって、多くの方で稲刈り体験交流会が出来るようになればと願っています。

5月15日に圃場を確認しました。

※山岡中央農用地利用組合の田（恵那市山岡町田沢）

昨年はこの田んぼに多くの家族が入り、泥だらけになりながら田植えをしたことが、昨日のように思い起こされます。



○奥飛騨むすめ（こしひかり）

JA ひだ

ゴールデンウィークがあけ、飛騨各地で田植えが始まっています。5月22日、高山市国府町の特別栽培米「奥飛騨娘」の生産者・島瀬さんの田んぼも田植えが終わりました。残雪の乗鞍を映す水田に今年も早苗が見事に並んでいます。今年は新型コロナ禍の中、外出自粛も行われていますが、田植え作業は順調にすすみました。天候に恵まれ、実り多からんことを切に祈ります。



●奥飛騨娘生産者の島瀬さん。写真は怖そうですがとっても優しい方です。お米のことについて、色々教えていただきました。

〇れんげ米はつしも

JAにしみの

6月20日に田植え交流会を計画していましたが、新型コロナ禍の影響から開催を中止しました。ハツシモは晩生品種であることから、県内の田植えとしては一番遅いの6月20日前後となります。

今回は西濃地域のレンゲはつしも米について、にしみの農協を訪問し、田植えの状況や生産者の思いを聞かせて頂きました。

- 今年6月13日に、西濃支所北の田んぼ（例年米作り体験している田）の田植えが終わりました。

6月19日に圃場を確認した写真です。



- 雨の中、植えられた苗が整然と並んでいます。今年は組合員さんも参加されず、寂しい田植えだったと話されました。

（農協や生産者の皆さんも、組合員さんと一緒に田植えが出来ることを楽しみにしていました。）



- パールライス、全農岐阜県本部、にしみの農協の皆さんと圃場の状況を確認しました。
今年もジャンボタニシの卵があぜなどに多く見られ、被害が心配だと離されました。



- いつもお世話になっている、全農パールライスの佐橋さんと、にしみの農協の吉田さん



10月中旬に収穫が見込まれますが、新型コロナが収まり、多くの家族の皆さんで収穫体験が出来ることを願っています！
また、今年も美味しいお米がお届けできるよう頑張ります！！